

平成2年
11月10日

第61号

発行 守 谷 町 議 会
編集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL (0297) 45-1111 (内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容
- ②ページ } 一般質問
- ③ページ } 海外行政視察報告ほか
- ④ページ }



運 動 会

9月定例会

企業会計決算を認定

人権擁護委員に雪草忠循氏

平成二年第三回定例会が、去る九月一日から二〇日まで、一〇日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、人権擁護委員候補者の推薦や元年度企業会計決算認定をはじめとする町長提出議案一八件と、議員提出議案三件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

議決内容

●人権擁護委員候補者の推薦
雪草忠循氏(板戸井一九一〇七三歳 再)

●元年度企業会計決算認定
○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

○水道事業会計決算認定
○工業用地の取得及び処分事業会計決算認定

委託で、当年度末の用地取得率は、約九二パーセントとなった。主な財源は、立地決定企業等からの予納金一六億四〇五二万六〇〇〇円と予納金の運用利息収入。

●条例の制定
○国際交流研修センター設置条例
国際交流センターの管理、運営に際し、必要な事項を定めた。

●条例の一部改正
○公告式条例
条例公布の掲示場に新庁舎を追加した。

○印鑑条例
印鑑登録証の再交付手続きを簡略化した。

○中小企業事業資金融資あっせん条例
特別小口保証制度(限度額四五〇万円)について、一切の保証人も担保も必要とせずに融資を受けられるものとした。

●二年度補正予算
○一般会計補正予算(第三号)
一〇〇周年記念事業費、国際交流研修センター費、土塔中央保育所増設工事費、守谷沼ため池整備軟弱地盤改良工事費、国際交流基金費などを増額した。補正額は一億八七六六万九〇〇〇円。

○下水道事業会計補正予算(第二号)
汚水面整備工事費、公債費、下水道整備基金などを増額した。補正額は八五二万三〇〇〇円、補正後の予算額は一億八八二八万二〇〇〇円。

○国民健康保険会計補正予算(第一号)
老人保健医療費拠出金及び事務費拠出金、元年度療

養給付費等負担金返還金などが増額された。補正額は三三三万五〇〇〇円、補正後の予算額は一億二億六三九一四〇〇〇円。

○老人保健会計補正予算(第一号)
元年度精算による国・県支出金の返還金並びに一般会計繰入金金の増額。補正額は三三三万五〇〇〇円、補正後の予算額は一億九二七六六〇〇〇円。

○水道事業会計補正予算(第一号)
アサヒビル(株)への暫定給水に伴う水道施設工事、配水管野木崎橋添架工事の配管工法変更による増額一七五〇万円と、浄水機器点検工事の増額六五〇万円。

●財産の購入
○新庁舎用備品
事務用机・椅子・会議室用机・椅子、ロッカー、木工家具。

購入金額一億五〇六万円
○(仮称)南守谷中学校フー

第六回臨時会が去る一〇月一九日に開催されました。この臨時会には、大和田町長の四期目最初の議会とあって、議案の審議に入る前に、町長から今後の町政運営に対する所信表明演説が行われました。

なお、議決内容は次のとおりです。

●教育委員の任命同意
椎名四郎氏(野木崎四三七二歳 再)

●条例の制定
○新庁舎移転に伴う関係条例の整理等に関する条例

●二年度補正予算
○一般会計補正予算(第四号)

農林近代化施設整備事業補助金、町道舗装工事費など。補正額は一四二万八〇〇〇円、補正後の予算額は九億九千九百九十九万七千七百七十七円。

●工事請負契約の締結
○守谷沼護岸工事及び盛土水田整地工事
契約金額一億四〇九〇万四〇〇〇円

工期平成三年二月二五日
○立沢野口地内公共下水道汚水面整備工事(工事区間延長七三三メートル)
契約金額三三三八四万四〇〇〇円

工期平成三年二月一七日

買収金額一八九六万七千四百九十一円

●工事請負契約の締結
○消防防災無線通信施設整備工事
基地局(新庁舎内)及び一般局(半固定局六局、車載型無線機一五台)設置工事。
契約金額三三二〇万九〇〇〇円

工期平成三年三月一五日
○立沢野口地内公共下水道汚水面整備工事(工事区間延長七三三メートル)
契約金額三三三八四万四〇〇〇円

一般質問

(要旨)

九月定例会における一般質問は、一八日、一九日の二日間にわたって行われました。
質問には九名が登壇し、ごみ処理問題や今後のまちづくりについてなど、行政の諸問題について熱のこもった質問が行われました。

ごみの減量化を図れ

栗橋 義三議員

栗橋議員 ごみの減量化を図る一つの方法として、生ごみを堆肥化する容器がある。茅崎町ではこの容器代五四〇〇円の三分の一を補助し、各家庭に導入しており、ごみ処理経費も大きく減額されているとのことなので、当町でも導入していただきたい。

保険衛生課長 この容器は定期的に移動が必要であり、また、狭い宅地の場合には堆肥の処理の問題などが考えられるが、茅崎町、あるいは水海道市でも導入しているとのことなので、十分調査し、実績が上がるようであれば導入したい。

国保財政について

栗橋議員 国保財政は非常に厳しい状況にあり、その

資源ごみ回収に補助制度を

椎名 七生議員

椎名議員 千葉県の我孫子市や船橋市では、市民に資源ごみの回収をお願いし、協力いただいた団体(自治会等)に対し、応分の還元金を支払うなどして、ごみの減量化とリサイクルに大きな成果を上げている。そこで、六月の定例会でも町民の資源ごみ回収に対す

る補助金制度を導入するよう要望したところであるが、その後の経過を聞きたい。保険衛生課長 補助金の交付を全町一斉に行うのは不可能であり、当初はモデル地区をつくり、徐々に町全体に拡大していくような形で対応していきたい。

椎名議員 開発が進み地面

の多くがアスファルトなどで覆われてしまうと、雨水は地中に戻らなくなってしまう。水と緑の豊かなまちづくりを進めるにあたっては、降った雨は地中に戻してやり、さらにそれをせせらぎとして地中に流してやるなど、水の浄化を図れるような施策が必要である。

都市計画課長 指摘の箇所は十分検討する必要がある。また、現在、町としてもいろいろな水辺に親しむ計画に取り組んでいる。工業団地には、人工的に揚水して水辺の公園を整備する計画があり、守谷東土地区画整理事業においても、単なる調整池ではなく、調整機能をもった水路として、水辺の公園計画をしている。さらに、旧水道事務所跡に深井戸があり、せせらぎへの活用も将来は考えられると思う。

庁舎跡地利用と旧市街地の活性化について

浅野 進議員

浅野議員 庁舎移転に伴う跡地利用について具体的な計画を伺いたい。

総務課参事 保健センター、役場支所、さらに集会所を考えている。また、消防特設分団の消防車の車庫も設置したいと考えている。尚、基本計画ができた時点で、庁舎建設小委員会並びに地元説明会を実施する予定である。

広域行政について

浅野議員 先般、常総環境センターの粗大ゴミ処理施設破砕機室で爆発事故があった。また、大量の不燃物がいまだに白寿荘裏の仮ストック場に野積みになされており、火災等も発生している。これらの不燃物処理の現状を伺いたい。

浅野議員 保健センター、支所等ができるまでの対応は、どのように考えているか。

総務課参事 支所については、現在、建設課及び都市計画課が入っている分庁舎で暫時開設する。保健業務は、新庁舎の大会議室を使用する予定である。

浅野議員 旧市街地の活性化と、森林公園、守谷沼、(仮称)守谷城址公園等の公園整備について、今後の考え方を伺いたい。

助役 旧市街地については、庁舎の跡地利用による保健センターや常磐新線に伴う

当初計画には体育館建設があるが、他の広域関係自治体の協力が得られず、今だに建設されていない。ごみ処理場による地元への諸々デメリットを踏まえ、体育館や温水プール等の建設に協力しない自治体について

は、ごみの搬入を阻止したかどうか。助役 搬入を拒否することはできないが、各自自治体は広域行政について自分の問題として、真剣に取り組んでいただきたい。



爆発事故の原因となったガスボンベの破片

常磐新線と今後のまちづくりについて

寺田 達議員

寺田議員 去る七月一九日、常磐新線の建設で、関係一都三県は、「JR東日本の新線事業の参加は運行業務の委託だけとし、整備・運営とも第三セクターが主体となる方式とする」ということで合意したが、その後の経過を聞きたい。

町長 「第三セクターの年度内設立も可能ではないか」との見方もでていますが、まだ課題も多く、動向を見つめなければならぬ。

寺田議員 本年五月、町長のまちづくりの具体策が新聞で報道された。その中で「茨城県、守谷町及び常磐

新線整備検討委員会の新線ルート検討の中で、車両基地は守谷町の駅北側に予定されている」とあるが、それはどの辺を指しているのか。

町長 当町は開発が進み、残された土地も少なく、車両基地の用地を確保するのは容易ではない。場所については、まだ具体的に描いていないが用地の先行取得のために、事業主体となる第三セクターの早期設立を願っている。

寺田議員 守谷駅周辺の整備事業を進めるにあたっては、地権者、住民と十分話

し合い、理解をいただきたい。がら都心と学園都市を結ぶ新線の拠点として、また、守谷町の中心として魅力ある整備をしていただきたい。助役 駅周辺の開発と同時に、新線を呼び込み、活性化を倍加したいと考えている。地区住民のアンケート調査でも約八〇パーセントは、開発は必要と考えており、今後は地権者代表会議や先進地視察など実施しながら、計画の具体化を図る

固定資産税評価替えの凍結を

松本 明子議員

松本議員 来年は固定資産税の評価替えの年であるが、評価替えは、固定資産税や都市計画税、さらには国保税の値上げにもつながってくる。そこで、面積二〇〇平方メートル以下の小規模な宅地や店舗に対しては、評価替えを凍結していただきたい。

工業団地について

松本議員 アサヒビール(株)は、工業団地の換地処分前に工場の建設が許可されているが、この土地分の固定資産税は換地されなければ課税できないとのことであり、その相当額を別の名目で支払っていたこととでアサヒビール(株)との話し合いがいったとのことである。そこで、他の立地企業に対しても換地前の建築を許可する場合は、固定資産税や都市計画税相当額を支払うことを条件としていただきたい。

企画開発課長 企業が建築許可を求めてきた場合は許可せざるを得ないと思うが、税相当額の支払いに関しては、協力いただけるよう努力したい。

水道事業について 松本議員 水道会計は、累積赤字が残っており、昨年末までは一般会計から一億円以上の補助をしていたが、今年度は二〇〇〇万円に減額されてしまった。早く赤字を解消し、安い水を町民に

提供したい。

執行部の対応について 寺田議員 議会における議員の質問に対して執行部が資料不足等を理由に、即答できないケースが度々ある。今後は即答できるような対応をお願いしたい。

助役 課長は課内全てを熟知しなければならぬ。十分反省し、課長自ら研究、努力することが必要である。

供給できるよう、これまでどおりの補助をお願いしたい。

助役 水道会計は黒字に好転するよう傾向にあり、また、本年度は庁舎建設等にも予算がかかるということで減額した。

松本議員 これまで水道料金に赤字を理由に値上げされてきたが、赤字の原因は、県からの受水の責任引取制などにより、町民に責任はない。町民からは水道料金が安いという声が聞かれており、町長には、このような町民の声を聞けるような施政をお願いしたい。

町長 町民の意見を聞きながら、本当に高いということになれば、それに見合う料金の改訂をしたい。

松本議員 工業用水への国の補助は非常に優遇されており、飲料水に対しても、工業用水並に補助をするような国に働きかけていただきたい。

戸頭駅にみずき野側改札口を

西巻 健治議員

西巻議員 常総線戸頭駅は、みずき野団地からの通勤者の利用が非常に多いが、改札口が反対側にしかなく、不便を来している。みずき野側にも改札口を設けるよう関東鉄道(株)に働きかけていただきたい。また、早急に改札口を新設することが困難であるならば、まずは、現在横断している踏切の拡幅をお願いしたい。

都市計画課長 みずき野団地を当初計画した時点では、みずき野側にも改札口を設ける計画で進めてきたわけだが、地権者の協力が得られず断念ざるを得なかった。今後は住宅都市整備公団により取手市下高井地区

町長 そのようにしたい。

松本議員 水道事務所の一部職員が、企業から支払われた公金四五〇万円を、新たに作った口座に振り込ませて、事務所の乗用車を購入した問題で、教育厚生委員会では三度会議を開き、事実確認を行ってきた。委員会の中で金の流れを裏付ける預金通帳の写しを提出するよう要望したが、口頭による説明だけで提出されなかった。再度写しの提出をお願いしたい。

助役 委員会では十分審議いただき、その内容についても納得いただいたものと理解している。

松本議員 この問題について、関係職員ばかりでなく、町長も何等かの監督責任を負うべきである。

町長 議員全員協議会で陳謝したとおりであり、職員の責任を全部私が負わなければならないということはない。

現在の交通体系でこれに対応できるか不安である。そこで、今後どのような道路網の整備構想をもっているか、常磐新線が導入された場合も含めて聞きたい。

都市計画課長 現在、都市計画道路の約七〇パーセントの整備が進んでおり、工業団地内を通る北園・野木崎線も年度内に完成する予定である。また、常磐新線の導入に伴う新駅への車の流れや県の幹線道路の計画等を踏まえながら、全体的な道路網の整備を検討すべきである。

西巻議員 最近の交通事故による死者の急増、さらには高齢化社会の進展に伴い、厚生省の救急医療体制検討会は、「救急車に医師を同乗させたドクターカーを全国的に普及させるべきである」と提言した。そこで、常総広域組合の救急医療体制の中にもドクターカーを導入し、救命率の向上を図っていただきたい。

保険衛生課長 国において

の開発が計画されているので、それらの状況も踏まえながら関東鉄道(株)との話し合いを進めていきたい。また、踏切の拡幅については、拡幅することにより愛宕の踏切の交通渋滞を回避する迂回車が増え、危険性が増す恐れもあるので、十分検討したい。

西巻議員 みずき野団地の開発業者である三井不動産(株)に対して、改札口の新設に向け積極的に働きかけるよう要望していただきたい。

町長 強く要望したい。

西巻議員 庁舎移転並びに工業団地に伴い、交通量の大幅な増加が予想されるが、



改札口の新設が望まれる戸頭駅

検討されており、推移を見ながら対応したい。

環境教育について

西巻議員 先般、公明党は、ヨーロッパ諸国の環境問題への取り組みを調査するべく調査団を派遣した。その報告書の結論は「環境を良くするには、自然とのかかわりの中でどう生きていくか、人間を教育するしかない」ということだった。そこで、義務教育の中に是非環境教育を取り入れていただきたい。

教育長 先般、文部省は、系統的な環境教育を実施すべく、教師用指導書作成委員会を発足させたということであり、これから実践に入っていくという状況である。

西巻議員 国際交流事業を進めるにあたって、環境問題を海外の青少年と一緒に学習していくような企画をしていただきたい。

企画開発課長 相手もあることであり、十分検討したい。

よりよい町立図書館の建設を

中村 力議員

中村議員 守谷町は近隣市町村に比べ文化的施設の整備が遅れているため、各種施設の建設が望まれており、町立図書館の建設については特に要望が強いわけであるが、現在どのような構想をもっているのか伺いたい。

町長 図書館の建設については、当初庁舎の跡地に建設する構想をもっていたわけであるが、跡地利用については保健センターの建設ということが決定したため、現在用地を探しているところであり、保健センター建設より一年くらい遅れて取りかかれると思う。

中村議員 町立図書館の運営については、現在中央公民館にある図書室と同様に教育委員会の所管と思われるが、教育委員会では、どのような認識をもっているのか伺いたい。

教育長 現在、町民の読書願望が高まっており、早期に独立図書館の建設をしたと考えているが、将来の人口等を見越した場合に分館等の設置も考えられるため、規模、機能、内容等について検討中である。

中村議員 従来の施設づくりは運営上の中心になる館長等の人選が後手にまわる傾向が多く見受けられるが、町立図書館については館長候補者の人選を早急に行い、候補者を中心とした建設準備委員会を設置し、地域文化の拠点となるような施設にしたい。

町長 まず、建設候補地の

障害者センター建設

中村議員 現在、中央公民館の一角に障害児者のための施設がプレハブで仮設されているが、人口の増加とともに障害者の数も増え、心身障害児には早い時期からの療育や訓練が必要であるというところから、守谷町心身障害児父母の会から早急に障害児者のための施設づくりをしていただきたいという陳情が出されたわけである。そこで、現在福祉課ではどのような考えをもっているのか伺いたい。

福祉課長 中央公民館敷地の借用期限が平成五年三月で切れるため、平成四年に建設する計画を進めている。

残土処分条例の制定を図れ

佐藤 弘子議員

佐藤議員 守谷町には残土処分の条例がないため、町内の数箇所に残土が捨てられ、場所によっては悪臭を放っているが、町としてはどのように考えているのか伺いたい。

保険衛生課長 現在、担当者が残土条例を制定すべく作業中であり、条例案ができたらいきなり公衆衛生協議会で十分審議をしていただき、条例の制定をしたいと考えている。

佐藤議員 現在、残土が捨てられている場所は、市街地から離れたところであるため、周辺には井戸水を使用している家庭が多く、残土による水質汚染が心配されるので、井戸水の水質検査をしていただきたい。

保険衛生課長 実施する方向で検討している。

ごみ問題について

佐藤議員 ごみの分別収集と減量化について、三月の定例議会でも質問をしたわけであるが、その後の状況を伺いたい。また、ごみの大量排出が社会問題にまでなっており、特に空き瓶の

西巻議員 町の諮問機関である公害対策審議会や、環境問題に関する勉強会を行っていただきたい。

福祉行政について

中村議員 高齢化社会が大きな問題になっている中で、特に問題となっているのは、痴呆症老人の介護の問題である。新聞報道によると痴呆症老人の数が我が国では八〇万人を突破しており、約二〇万人が何等かの施設に入所しているだけで、その大半が在宅で介護を受けているため、厚生省では全国五九カ所の総合病院を老人痴呆センターに指定し、また、在宅の患者にはホームヘルパーの増員等を行い対応しているようであるが、守谷町では現在寝たきりや痴呆症老人がどのくらいいるのか伺いたい。

保険衛生課長 係と十分協議し、勉強会を開催してみたい。

充実を図り、町内にある各種団体、ボランティア組織等の協力を得ながら進めていきたいと考えている。

中村議員 社会福祉協議会やボランティア組織に対する町行政の対応は必ずしも十分ではないので、今回の機構改革に伴い職員の資質向上を図り、ボランティア組織等の協力を得ながら福祉の充実した環境を作るために徹底した作業に取り組んでいただきたい。

ころであるが、町も独自の考え方をもちて対応せざるを得ないと思う。

農業問題について

佐藤議員 コメの輸入自由化阻止についての決議を国会に提出していただくよう六月の定例議会において要望をしたが、その後の状況を伺いたい。

助役 昭和六三年一〇月一

教育行政について

佐藤議員 学校教育におけるいじめの問題や、父母負担の問題等について教育委員会に要望をお願いしたところ、こちらから聞きにくくまで何の対応もなかったというところがあったが、早期に対処できるものもあると思われるので、今後は問題解決のために早期対応をお願いしたい。

工業団地立地企業の課税について

小川 一成議員

小川議員 当町の工業団地事業では、アサヒビール(株)に対して土地区画整理法第七六条を適用し、本換地前の建設を認めている。このことにより家屋と償却資産の固定資産税や法人税が早期に課税できるとのことであるが、これらの税収は、概ねどのくらい見込まれるか。

税務課長 固定資産税は、建物及び設備に投資する金額を仮に七〇〇億円として試算した場合、建物については二億四三三五万二〇〇〇円になる。法人町民税は、流動性があるが、仮に課税標準額を七〇億円として試算すると、法人税割が二八八万二〇〇〇円、均等割は三〇〇万円になる。小川議員 土地についての固定資産税は、現に使用しているも本換地後でなければ

の暫定給水ということだが、その期間と給水量及び単価を伺いたい。

水道事務所長 期間は、本年一〇月から平成六年三月

まで。給水量は、平成二年度の日量平均で、製品用(表流水)が三二一トン、洗浄用(地下水)が六三八トン。給水単価は、製品用が臨時給水でトン当たり二八〇円、洗浄用は一〇〇円。

小川議員 水道会計は、アサヒビール(株)への給水と人口増加と相まって一層好転してくると思うが、水道料金の値下げは考えられるか。

水道事務所長 単年度会計では赤字になったが、また、累積赤字が残っており、平成五年度には赤字に転化すると思われている。しかし、旧水道管の改良工事や起債の未償還金の返済、受水単価の見直し予定、将来の水源の不足に対する水源主当施設の増設の必要性など、長期的展望に立った考え方で慎重に経常収支をみながら将来の水需要に対応しなければならぬ。そういうことで、現行料金を維持していきたいと考えている。

第三次振興計画

小川議員 昨年一二月の定例議会で、第三次振興計画の策定にあたっては、幅広い年齢層や新旧住民が知恵を出し合えるような組織づくりを要望したところであるが、その後の経過を聞きたい。

企画開発課長 第一次、第二次同様、課長補佐クラスの職員一八名による専門部会を組織しており、加えてアイデアモニター、あるいはコンサルタントの意見をとり入れ、内容を充実した形で進めていきたい。

小川議員 先般、アサヒビール(株)との給水協定が結ばれた。工業用水が来るまで

県南四郡町村議会北相馬班
ドイツ・北欧
行政視察報告

去る九月二五日から一〇月三日までの九日間、県南四郡町村議会北相馬班による第二回海外行政視察が行われました。当町からは七名の議員が参加し、東西ドイツ、スウェーデン、フィランドの四カ国を歴訪し、各国の政治、経済、文化等の実情を視察してきました。また、公式訪問として、西ドイツのミュンヘン市にある近代的な老人センター「市立ハンススエーバーハウス」と、「私立セントジョコプス幼稚園」を訪ねました。公式訪問先の概要は次のとおりです。



視察団一行

び看護婦が常駐し、各個人のカルテを備え、緊急事態が発生した場合もただちに対応できる体制が整っています。

看護人は、自立老人一三人に一人、特別看護者一五人に一人の割合で配置されています。

入所の要件は、六五歳以上の人口は二万人で、そのうち約五パーセントの六〇〇〇人が市内六〇カ所の老人ホームに入居しています。市では施設福祉を中心に進めています。また、まだベッド数が不足しているのが現状のようです。

施設は六階建て、全部個室になっており、八畳間にソファ、テレビ、テーブル、ベッド、戸棚等と、台所、洗面所が備えられています。また、広い庭も整備されており、樹木、芝生等が植栽され、散策やゲームができるように工夫されています。リハビリ室は器具類が充実し、浴室には自動入浴施設も備えられています。医療については、医療センターが完備され、医師及

私立セントジョコプス幼稚園

この幼稚園は、キリスト教の「貧しき者を助ける」という考えから、一八年前に設立されました。教会によって経営されていますが、宗教上の教養ばかりでなく、人道主義を学びます。園児数は一〇〇名で、年齢に関係なく園児を四組に分け、一組を複数の先生で担当しています。

園児一人の負担金は月八〇マルク(約八〇〇〇円)で、教会と市から補助金が出ています。

大部分の園児は午前中で帰宅しますが、母親が職業についている場合は、午後六時まで預かっています。訪問した日は午後となったため園児は二五名しかいませんでしたが、園児たちは、歌や踊り、さらに一〇月に行われる国の行事「収穫祭」を模倣した創作劇などを一生懸命披露してくれました。

臨時議会

去る七月三〇日に開かれた第四回臨時議会、及び八月二日に開かれた第五回臨時議会の決議内容をお知らせします。

第4回臨時議会

条例の一部改正

特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例
表彰審査委員の報酬を新設した。

二年度補正予算

一般会計補正予算(第二号)

野木崎保育所及び峰林荘の下水道建設費負担金、野木崎保育所の保育室増築及び便所改修工事費、県道北園・野木崎線歩道整備工事費などを増額した。補正額は五五八万八〇〇〇円。

公共下水道事業会計補正予算(第一号)

野木崎保育所及び峰林荘を対象とした汚水面整備工事費二三〇〇万円を増額した。

財産の取得

(仮称)南守谷中学校校舎
鉄筋コンクリート造四階

買収金額一億七億六八八万二八八一円

(仮称)南守谷中学校校舎
鉄筋コンクリート造四階

買収金額一億九千九百七十六万

業務請負契約の締結
基準点測量業務

契約金額三九六万五五〇〇円

期限平成三年三月二五日

工事請負契約の締結
浄化センター機械設備増設工事

流入汚水量の増加に伴う最初沈澱池、エアレーションタンク、最終沈澱池、送風機の増設工事。

契約金額二億三六九〇万円

工期平成三年二月二五日

浄化センター電気設備増設工事

水処理施設、送風機、中央監視室の配電盤及び各種計装機器の増設工事。

契約金額五二七三万六〇〇〇円

工期平成三年二月二五日

奥山本田地内公共下水道汚水面整備工事(工事区間延長一五二メートル)

契約金額九二七〇万円

工期平成三年二月二五日

辰新田地内公共下水道汚水面整備工事(工事区間延長一六五五メートル)

契約金額七四九八万四〇〇〇円

工期平成三年二月二五日

財産の取得

(仮称)南守谷中学校屋

内運動場

買収金額二億五五〇九万

(仮称)南守谷中学校校

剣道場

買収金額九一六四万二

九三三

編集後記

来月は、いよいよ新庁舎の議場において第四回定例会が開かれ、元年度決算等が審議されます。傍聴席も、これまでの三〇席から五三席へと大幅に増設されました。是非、傍聴においでください。